

○財務省告示第百十号

関税暫定措置法（昭和三十五年法律第三十六号）第七条の六第一項第一号及び第二項の規定に基づき、平成二十七年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第一四半期、第二四半期及び第三四半期の末日までの豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量並びに平成二十八年度における輸入基準数量を次のように告示する。

平成二十八年三月三十一日

財務大臣 麻生 太郎

一　関税暫定措置法（昭和三十五年法律第三十六号）第七条の六第一項第一号に規定するあらかじめ財務大臣が告示する数量は、次に掲げる区分に応じ、それぞれ次に掲げる数量とする。

イ　平成二十七年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第一四半期の末日までの豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量

二十一万四千六百九十八トン

ロ　平成二十七年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第二四半期の末日までの豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量

四十三万三千三百五十三トン

ハ　平成二十七年度までの過去三年度における各年度の初日から同年度の第三四半期の末日まで

の豚肉等の輸入数量を合計したものの三分の一に相当する数量に百分の百十九を乗じて得た数量

六十五万六百七十トン

二 平成二十八年度における輸入基準数量

七十五万三千六百四十六トン